

ユニセフ学校通信

発行：2020年9月
(公財)日本ユニセフ協会 学校事業部
〒108-8607
東京都港区高輪4-6-12 ユニセフハウス
☎03-5789-2014

「新型コロナウイルスと世界の子どもたち」

世界中に広がった新型コロナウイルス。あらゆる国がその影響を受けています。そして、この世界的な流行は、手を洗う設備が家がない人びと、貧困に苦しむ人びとなど、弱い立場にある人びとに、より深刻な影響を与えています。



同じ空の下、同じ困難を経験した世界の友だちの話

日本でも緊急事態宣言が出され、学校が休校になりました。2020年4月上旬には、世界194の国と地域で学校が休校になり、15億人以上の子どもの影響を受けました。みなさんは、この期間をどのように過ごし、どんなことを感じていましたか？

* <https://en.unesco.org/covid19/educationresponse>

思いや考えを聞いてもらおう！

これまでとはちがう生活の中で、みなさんも不安や悲しみを感じたり、「こうなってほしいな」「こうしたらどうだろう」と、いろいろな思いや考えをもったりすることがあると思います。そんな時は、勇気を出して、話を聞いてもらいましょう。「子どもの権利条約」の第12条には、「子どもは、自分に関係のあることについて自由に自分の意見を表す権利をもっています。その意見は、子どもの発達に応じて、じゅうぶん考慮されなければなりません。」と書かれています。誰も経験をしたことがない状況の中で、おとなも、どうしたらよいか迷うことがたくさんあります。誰かに相談したり、みんなと話をしたりする中で、新しいアイデアが生まれるかもしれません。そうして、みんなでこの危機を乗り越えていきたいですね。

ルカさん (ジョージア) 友だちの家にも行けなくて、つまらない！



ぼくは小学4年生。この2カ月はオンラインで勉強をしているよ。庭で自転車に乗ったり、ボールで遊んだりするんだ。友だちは電話で話すぐ、会って話したり遊んだりするのはとくらべたら全然ちがう。夏になったら、また川に遊びに行けるようになってほしいな。

外に行かないように、お友だちにも会わないように…たくさんがまんしましたね。気分を変えるために体を動かすこと、友だちとお話することは、体と心が元気でいるために、とてもいいことですね！



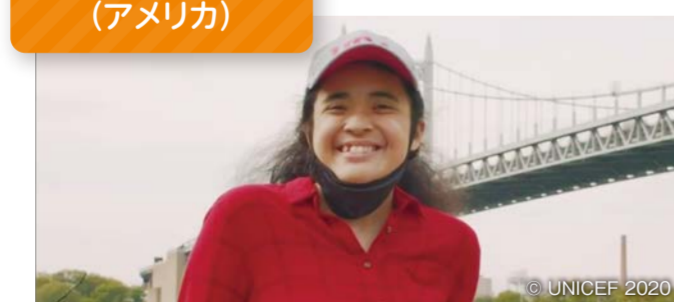
コネルさん (コンゴ民主共和国) 牢屋にいるみたいで、つらい気持ちになる



ぼくは12歳。新型コロナウイルスの影響で学校や教会にも行けないし、大事な用事があっても外に出られないんだ。今は畑仕事やペンキ塗り、家族の手伝いで野菜やスパイスを売ったりしているよ。インターネットはないから、教科書を読んで復習したり、学校から借りた本を読んだりしているんだ。

ずっと出られなくて、つらい気持ちになったんですね。いつもとちがう状況のなかで、悲しくなったり、不安になったり、混乱したり、イライラしたり怒ったりするのは、自然なことですね。

ブリシラさん (アメリカ) 両親にハグもキスもできず悲しかった



看護師のママと、ママの看病をしていたパパが感染して、心がはりさけそうでした。ママが回復したときは、太陽の光が差し込んできたようでした。またママにハグもキスもできるし、ママの料理を食べることもできます。本当に幸せでした。

家族が感染したら、とても心配ですね。新型コロナウイルス感染症には、誰でもかかってしまう可能性があります。住んでいるところや民族、年齢、性別、障がいなどは関係ありません。感染した人を差別する問題も起きています。こうした差別が起こるのはなぜだろう？どうしたら防げるのか考えてみよう。

ブリシラさんは、この大変な状況の中でも、強く前向きでいようと自分に言い聞かせました。そんな彼女からの力強いメッセージを動画で見ることができます。

ブリシラ 希望のメッセージ で検索！



さあ、みんなで手を洗おう！

石けんをつかった正しい手洗いは、コロナウイルスやインフルエンザなど、感染症から自分自身を守るだけでなく、周囲の人びとに感染を広げないためにできる、もっとも簡単で効果的な手段のひとつです。

19% 世界手洗いの日
unicef
くわしくは 世界手洗いの日
で検索！

正しい手洗いを身につけよう

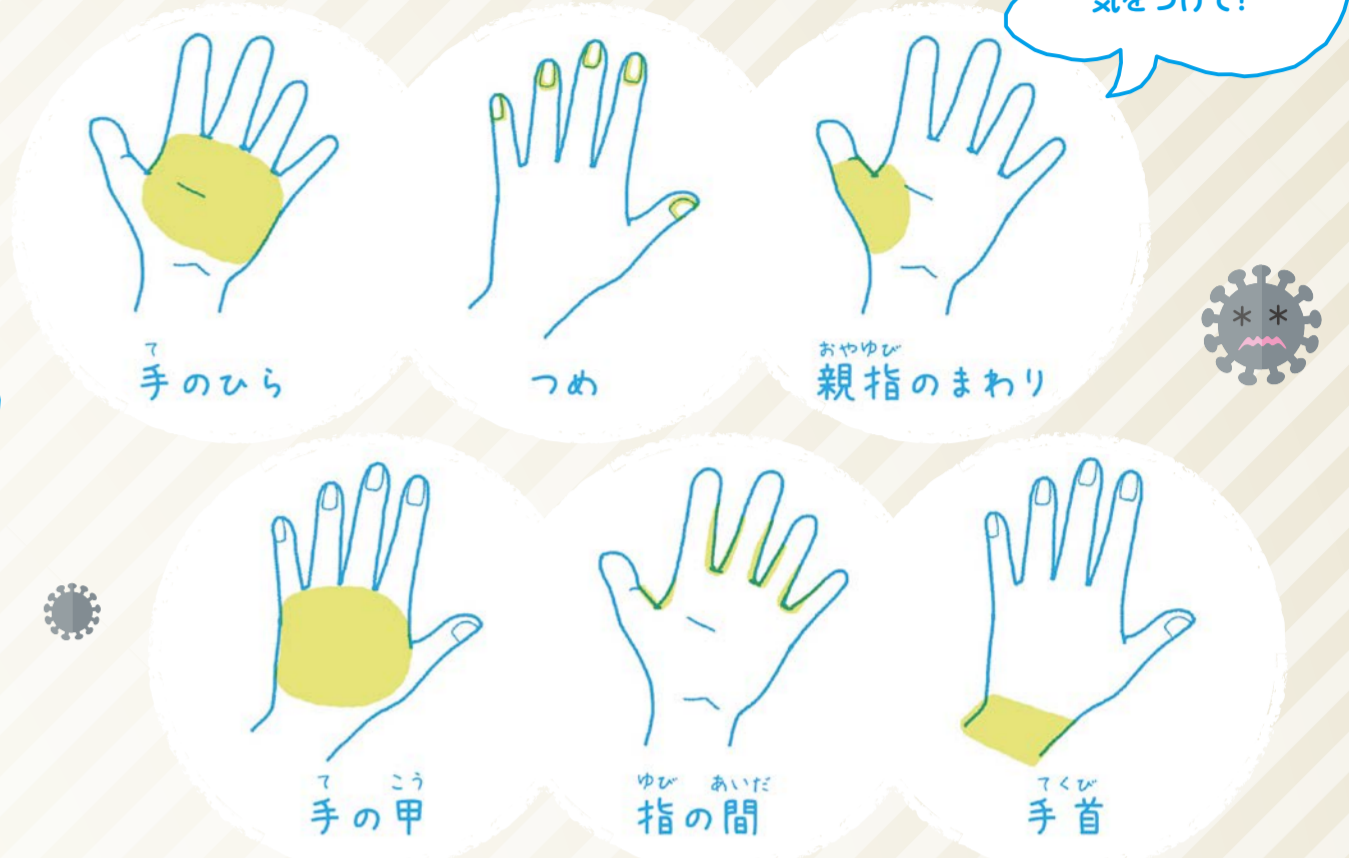
手洗いをするとき、特に意識して洗うのは下記の6カ所です。

6つのポイントに
気をつけて！

手洗いのタイミング

- 料理や食事をする前
- 咳やくしゃみ、鼻をかんだ後
- 登校したとき、外からもどってきたとき
- トイレの後
- 動物や昆虫にふれた後

このタイミングだけでなく、気がついた時には何度も手洗いができるといいですね！



洗うポイントを意識しながら、石けんやハンドソープを使って泡をつくり、「20秒以上」かけて、ゆっくり、ていねいに手洗いをしてみましょう！

「誰ひとり取り残さない」ことを目指すSDGs

2030年までに達成を目指す17の目標が掲げられたSDGs(持続可能な開発目標)。このSDGsが目指す「誰ひとり取り残さない」世界の実現のために、これまで世界中が努力を重ねてきました。しかし、この新型コロナウイルスの影響で、これまでに少しずつ良くなってきていた状況が、あとまどりしたり、さらに悪くなったりするのではないかと心配されています。



石けんと水で手を洗う設備が家がない人は、世界に30億人



さらに、開発途上国の学校の半分には、子どもが手を洗う場所がまったくありません。そんな環境で、どのようにウイルスから身を守ったらよいのでしょうか。

出典: 日本ユニセフ協会ホームページ「新型コロナウイルス 30億人が家で手洗いができない 世界の4割、ユニセフが警告」

貧困が増加し、児童労働が増加するおそれ



極度の貧困状態*の下で暮らす人の数は20%増加すると推測されています。人びとは生活していくためにあらゆる手段を講じるため、その手段のひとつとして児童労働が増加するおそれがあります。

* 国際基準で決められた1日1.9米ドル未満の生活
出典: ユニセフ報告書「新型コロナウイルスと児童労働: 危機の時は、それは行動する時」(原題: COVID-19 and child labour: A time of crisis, a time to act)

アフリカの大部分の国では、インターネットにアクセスできるのは人口の4分の1未満



写真は、自宅でラジオを通じて英語と理科の授業に取り組む南スーダンの14歳の女の子。学習ツールやインターネットが使えるか、その環境には大きな格差があります。

出典: 日本ユニセフ協会ホームページ「新型コロナウイルス 子どもたちを分断する教育危機 途上国の環境に格差」

みなさんには、同じ空の下で、同じ困難を経験している世界の仲間たちに思いをはせ、誰ひとり取り残さない世界を実現していくために、世界の子どもたちに必要なこと、自分にできることを考えてほしいと願っています。ユニセフは、これからも世界中の子どもたちが健康に成長し、生まれ持った能力を十分に発揮して成長できるように活動していきます。ぜひ、みなさんの力もかしてくださいね。

